

北部保健所(中津地区)の感染症情報

5月 

2024年 第19週 (5月6日~5月12日)

○手足口病の患者が報告されています。(4.67人/定点医療機関あたり)

感染してから3~5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2~3mmの水疱性発疹が出ます。

発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどで、高熱が続くことは通常はなく、ほとんどは数日間のうちに治る病気です。しかし、まれに髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など、さまざまな症状が出る場合があります。

感染経路としては経口・飛沫・接触感染が知られています。

*手洗いと排泄物の適切な処理を徹底しましょう。

*タオル等の共有を避けましょう。



○感染性胃腸炎の患者が報告されています。(3.00人/定点医療機関あたり)

下痢嘔吐等の胃腸炎症状がある時は出来るだけ調理等に携わらないようにしましょう。血便などの胃腸炎症状があるときは早めに医療機関を受診しましょう。

*食肉は充分に加熱しましょう。

*食肉や生野菜を扱う時、食事の前、トイレの後は石けん等で手をよく洗いましょう。

*患者の嘔吐物等进行处理する場合は手袋・マスク等を着用しましょう。



○咽頭結膜熱の患者数が減少しています。(2.33人/定点医療機関あたり)

潜伏期間は5~7日とされ、発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎にともなう結膜充血、眼痛、羞明、流涙、眼脂を訴え、3~5日間程度持続します。

感染経路は、通常飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染ですが、プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、プール熱と呼ばれることもあります。

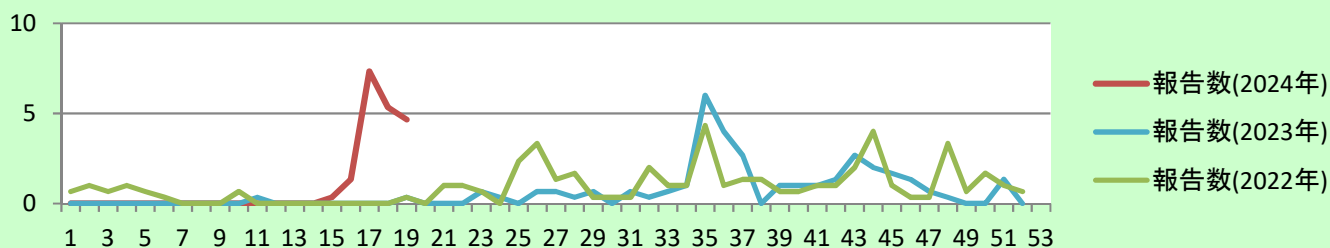
特別な治療法はありませんが、ほとんど自然に治ります。吐き気、頭痛の強いとき、せきが激しいときは早めに医療機関に相談してください。

	インフルエンザ			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水ぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(りんご病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	新型コロナウイルス感染症
	A型	B型	不明												
0歳				0.33			0.33		1.33		0.33				
1~3歳					2.00	0.67	0.67		3.00		0.67		0.33		0.20
4~6歳					0.33	0.33	1.00		0.33						0.20
7~9歳						0.33	0.33							0.33	
10~14歳							0.67								
15~19歳															0.20
20歳以上															0.60
計				0.33	2.33	1.33	3.00		4.67		1.00		0.33	0.33	1.20
70歳以上(再掲)															0.20
前週	0.20				1.00	1.67	5.00	0.67	5.33		0.67	0.33			0.80
		0.20													

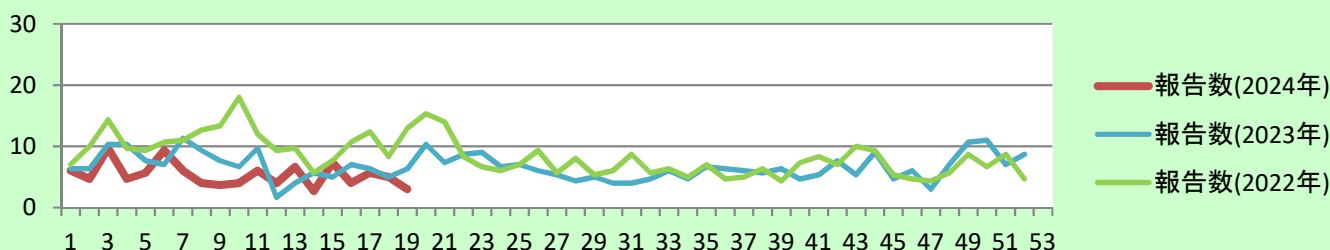
※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関 インフルエンザ定点5、小児科3)

※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがある。

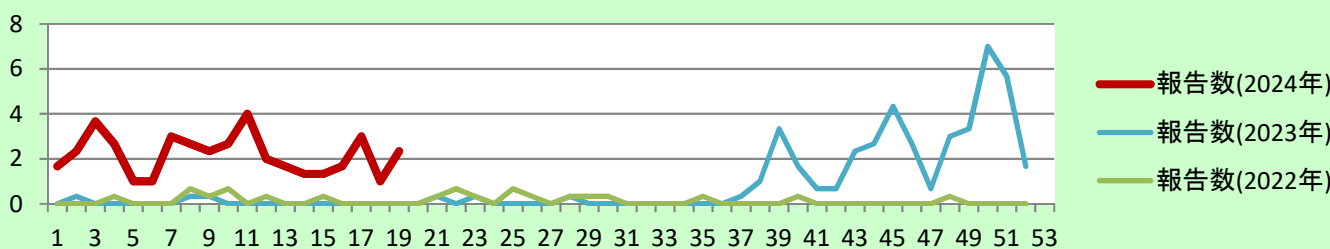
定点当たり報告数 手足口病



定点当たり報告数 感染性胃腸炎



定点当たり報告数 咽頭結膜熱(プール熱)



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

- ・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指す。
- ・「注意報」: 流行の発生前だと、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを指し、流行の発生後だと流行が継続していることが疑われることを指す。

お問い合わせ 北部保健所 0979-22-2210

a12089@pref.oita.lg.jp